

平成30年度山林火災防ぎょ訓練を実施



全国春の火災予防運動の一環として、平成31年2月24日（日）近畿大学生物理工学部が所有する、岩出市東坂本「学びとふれあい広場」において、山林火災防ぎょ訓練を実施しました。

訓練には、岩出市消防団、第1分団及び第4分団の43名と那賀消防組合、中消防署・東消防署・南消防署の職員17名が参加しました。



山林火災で大切なのは、現場指揮本部の迅速な立上げと、状況を把握し消火隊に適正な消火位置を伝え、延焼阻止することです。



懸命にホース延長を行う消防団員の皆さん



消防団と那賀消防組合による一斉放水



消防団の方が背負っている黄色い消火器具は「背負い式水のうポンプ」と言い、18リットルの水が入った水袋です。傾斜のきつい場所や消火ホースが届かない場所での消火作業（残火処理）に使用します。



無事訓練が終了し、岩出市長 中芝正幸 様から閉式時にご挨拶を頂きました。

これからの季節、ハイキングに出掛ける方も増えてきます。
この豊かな自然を火災から守るため、火の取り扱い、火の後始末には充分注意
しましょう。

